

夕張市財政再生計画の変更 (平成26年9月)の概要

- 本年6月17日に夕張市の財政再生計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、財政再生計画に計上した平成26年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保及び歳出の抑制により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針並びに財政の再生に必要な計画及び歳入又は歳出の増減額については変更はない。

I 歳入・歳出額の変更における主な内容

1 主な変更事項

(1) 旧学校施設活用事業 (+32百万円)

高齢者就労促進及び障がい児等のレクリエーション支援等による新たな交流人口の創出を目的として、施設の活用事業者が旧若菜中央小学校の校舎内に宿泊及び研修機能を整備することに伴い補助金を交付するもの。

(財源) 国支出金32百万円

(2) ふるさと納税啓発業務 (+7百万円)

寄附金の増収と特産品のPRのため、一定の条件を満たした寄付者に「夕張メロン」を送付する事業を今年度から実施しており、当初見込みを大幅に超える寄附件数となったことから、特産品送付等に係る経費を追加計上するもの。

(財源) 幸福の黄色いハンカチ基金繰入金7百万円

(3) 旧富野じん芥焼却場除却に係る事前調査・計画経費 (+5百万円)

ダイオキシン類の規制強化により廃止した旧富野じん芥焼却場は、老朽化が著しく危険なため施設の解体を検討しており、解体にあたって、ダイオキシン類の汚染レベルの事前調査及び実施計画の策定を行うもの。

(財源) 過疎対策事業債(ソフト分)1百万円、一般財源4百万円

※ 変更に必要な一般財源については、財政調整基金繰入金により対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。

2 性質別歳入・歳出の増減

【一般会計】

(1) 歳入

国・道支出金の増（＋32百万円）、繰入金の増（＋24百万円）、地方債の増（＋3百万円）、その他の増（＋1百万円）により60百万円の増

(2) 歳出

物件費の増（＋11百万円）、維持補修費の増（＋2百万円）、扶助費の増（＋1百万円）、建設事業費の増（＋3百万円）、その他の増（＋42百万円）により60百万円の増